

で 出かけてみよう (4) 田畑

たはた い もの
● 田畑にいる生き物

きしょうしゅ
●: 希少種

しゅ
◆: つながり種

がいらいしゅ
▲: 外来種



ヒメズワラビ ●

すいちゆう しっち のうやく じょそうざい
水中や湿地にはえるが、農薬や除草剤などの影響で数を減らしている。



ヒメミソハギ ●

がいらいしゅ きょうそう しっち う た のうやく
外来種との競争や湿地の埋め立て、農薬の影響などで数が減っている。



アキアカネ ● ◆ (秋)

おお へいち う なつ すず
大きさ 33-46mm。平地で生まれ、夏は涼しい山地で暮らし、秋にまた戻ってくる。



ムクドリ

おお ぶる しゅうだん
大きさ24cmほど。夜になると集団になり、林や街路樹などで眠る。



ヒバリ ●

おお せんげん
大きさ 17cm。オスはなわばりを宣言する時、さえずりながら高く上昇する。



ニホンアマガエル ◆ (夏)

おお みどり はいいろ かんきょう
大きさ 20-45mm。緑や灰色など、環境の色に合わせ体の色を変化させる。

あまがさき でんとうやさい ● 尼崎の伝統野菜

あまいも
尼 蓴



しんでんちたい りんかいちいき むかしさか
新田地帯（臨海地域）で昔盛んに作られていたサツマイモ。1950年のジェーン台風で全てなくなりましたが、復活に向けての取り組みが行われました。

むこ とまついつすん
武庫・富松一寸ソラマメ



むこ とまつ とち ひとつ
武庫や富松の土地にできる一寸(3.3cm)ほどの大きなソラマメ。ソラマメは同じ場所で続けて栽培ができないうえに、農地や農家が激減しているため 幻の豆となっています。

たのう さといも
田能の里芋



たのうちく さいばい
田能地区で栽培されているサトイモ。独自の栽培法により大量に収穫できないため、市場に出回ることがない貴重なサトイモとなっています。

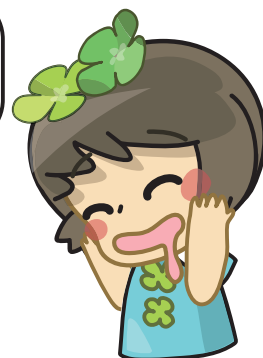
○あまやさい



尼崎
育ち

あまがさきで生産されたやさしい略して「あまやさい」。
「あまやさい」のマークが入った野菜は尼崎市の農家
さんが心を込めて作った安心で安全な新鮮野菜の目印です。

このマーク直売所や朝市で見たことあるよ！
地元の農家さんが作ってくれた野菜
おいしかったなあ



ちさんちしょう ○地産地消

尼崎市の学校給食の食材は牛乳は主に兵庫県産、
米や野菜は季節によっては尼崎市産のものを取り入れて
ています。



献立の産地は給食室で紹介しているよ
今日はどこの食材かな？みてみよう！



ぶんか せいぶつたようせい ●文化としての生物多様性

あまいもほうのうさい きふねじんじゃ 尼芋奉納祭 (貴布禰神社)



伝統野菜である「尼諸」を氏神様のきふね
さんに奉納するお祭り。
祭当日は、焼き芋などが販売されます。

とまついつすんまめ とまつじんじゃ 富松一寸豆まつり (富松神社)



伝統野菜である「富松一寸豆」を富松神社
に奉納し、地域の発展を祈願するお祭り。
祭当日は、塩茹でしたソラマメの試食会や
豆飛ばしコンテスト、即売会などが行われ
ます。